いま、
どのような
木の建築を
つくるのか

第８回 木の建築大賞
手のひらに太陽の家

第８回 ＮＣＮ木骨構造賞
東北大学大学院環境科学研究科エコラボ
（特別協賛・株式会社エヌ・シー・エヌ）

第８回 日集協集成材建築賞・メンバーズチョイス賞
水の町屋 七日町御殿堰
（特別協賛・日本集成材工業協同組合）

第８回 中国木材・ハイブリッド建築賞
国際教養大学カフェテリア増築棟
（特別協賛・中国木材株式会社）

第９回 木の建築賞

2013 年度　近畿・中部地区

応募書類受付期間　2013 年 7 月 8 日（月）～ 2013 年 8 月 16 日（金）

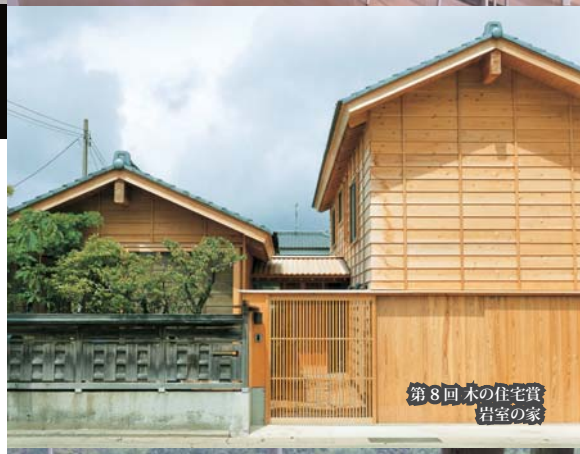
「いま、どのような木の建築をつくるのか」というテーマの解釈は、それぞれの取り組みによって異なります。

「作品」であれば、人々に快適な場を提供する、建築デザインと空間構成、環境に対する考え方、それらを支える技術、その建築の持つ社会性などがあげられ、「活動」であれば、森林の育成に結びついた木材の利用、品質向上に関する技術開発とシステムの構築、伝統技術の継承、木の持つ良さを社会にアピールする運動や、活動を通じての社会への貢献などがあげられるかもしれません。

「木の建築賞」は、このような観点から木に関心のある人たちに応募を呼びかけ、優秀な作品･活動を顕彰することにより、木造文化の向上に寄与することを目的にしています。

いま、どのような木の建築をつくるかをともに考えませんか。

主催：NPO 木の建築フォラム
協賛：NPO 木の建築フォラム会員有志、特別協賛団体ほか
協力：京都造形芸術大学環境デザイン学科



第８回 木の住宅賞
岩室の家

第８回 選考委員特別賞
越後杉による川上から川下までを網羅した「地産地消の家づくり」

第８回 木の建築賞
富士発・復興住宅『ぬくたまり』建設プロジェクト

第８回 木の建築賞
かわまた『結の家』

第８回 木の建築賞
苫小牧信用金庫まちなか交流館

第８回 木の建築賞
下川町環境共生型モデル住宅『美桑』

第８回 木の建築賞
佐渡／鍛冶の家

■ 2013 年度 第 9 回木の建築賞　実施要綱

○ 応募対象地域（建築物の所在地、又は活動地域）

近畿、中部地区
（石川県、富山県、福井県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、大阪府、京都府、奈良県、和歌山県、兵庫県）
※全国を４つの地域に分割し、いずれかの地域で年１回の開催とし４年で全国を一巡する。地域側からみれば、４年に一度行われるオリンピック方式である。

○ 趣　旨

木の建築に関わる者が自らの仕事や活動を発表し、相互に評価するとともに、賞の選考過程をこれからの木の建築のあるべき方向を探る議論の場とする。

○ 選考の基準

以下の基準において一定の水準に達している建築または活動を木の建築賞として選考する。
また、その中からもっとも優れているものを木の建築大賞として選考する。
① 地域の文化や風土が表現され、木の建築文化と芸術の振興に寄与していること。
② 木材を主として用い、森林の保全と木材産業の振興に寄与していること。
③ 職人や工務店が主体となってつくり、木の建築技術の継承と発展に寄与していること。
④ 木の循環的利用が図られ、木の建築の修復や再利用において優れているもの。

○ 選考方式

① 一次選考＜書類選考＞
選考委員が「建築・活動シート」による書類選考を行ない、20 点程度の建築・活動を選出する。
② 二次選考＜木の建築賞発表会＞
一次選考通過の建築・活動（20 点程度）の応募者による 10 分間のプレゼンテーション（＋質疑 4 分間、合計 14 分間）を行なう。その後、選考委員（持ち点 5 票）と発表会に参加するフォラム会員（持ち点 3 票）全員が投票を行い、投票結果を見ながら参加者全員による統括討論会を行う。投票の結果と討論の内容を鑑み、三次 選考を行なう建築・活動を選考委員がその場で決定する。
③ 三次選考＜現地視察見学会＞
選考委員が 1 チーム 3 名以上のチームに分かれ現地審査を行う。現地案内は応募者が行なう。見学希望者の同行が可能であれば見学者が同行する場合がある。
④ 最終選考会
選考委員が現地視察見学会の評価を持ち寄り、選考の基準に基づいて内容を検討し、厳正な審査のうえ、入賞建築・活動を選出する。

○ 賞

・木の建築大賞：1 点
・木の建築賞（下記特別協賛賞を含む）：10 ～ 12 点
・特別協賛賞：特別協賛団体、企業の理念にそった賞を設ける。
・メンバーズチョイス賞：二次選考会時の投票で得票数が最も多いものを表彰する。メンバーズチョイス賞に限り、他賞とのダブル受賞があり得る。

○ 選考委員（予定）　敬称略・五十音順

選考委員長　泉幸甫　／泉幸甫建築研究所・日本大学教授

選考委員　播繁　／播設計室　代表
安藤邦廣／里山建築研究所主宰・筑波大学名誉教授
槌本敬大／建築研究所材料研究グループ上席研究員
中谷正人／中谷ネットワークス主宰・千葉大学客員教授
速水亨　／速水林業代表・社団法人日本林業経営者協会会長
安井昇　／桜設計集団一級建築士事務所代表
松井郁夫／株式会社松井郁夫建築設計事務所代表取締役
池田昌弘／株式会社 Masahiro　Ikeda　School　of　Architecture 主宰
杉本洋文／株式会社計画・環境建築代表取締役・東海大学教授
南雄三　／住宅技術評論家

客員選考委員　横内敏人／有限会社横内敏人建築設計事務所代表・京都造形芸術大学教授
吉村篤一／株式会社建築環境研究所所長・大阪工業大学客員教授
辻充孝　／岐阜県立森林文化アカデミー准教授

○ 応募条件

・応募資格、条件等は特にありません。応募点数の制限はありません。ただし、応募書類に虚偽の記載があると判明したときには入賞を取り消す場合があります。
・応募年度に開催が示された地域内における木の建築または、木の建築に関わる活動であり、2003 年 1 月以降の竣工完成もしくは活動であること。
・選考委員および客員選考委員、もしくはその関係者の応募は認めない。ただし、構造や防火等の技術的サポートについて選考委員長が承認したものについては認める。

○ 応募方法

応募は次の①～②をもって応募完了となります。
①　応募書類の提出：「応募概要書」・「建築・活動シート」をメール送信　及び　郵送（宅配便可）
②　応募費用の振込み

○ 応募の詳細

応募書類、応募費用、選考スケジュールなどの詳細は、下記 URL にてご確認ください。
URL：http://www.forum.or.jp/

○ お問い合せ、および応募書類送付先

NPO 木の建築フォラム事務局
〒112-0004　東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル 4 階
E-mail：kinokenchikusyou@gmail.com　　URL：http://www.forum.or.jp/
TEL：03-5840-6405　　FAX：03-5840-6406